

【平成25年3月議会定例会一般質問】

- 平成25年度予算について
  - 戦略的財源の確保
- 企業誘致について
  - インタービジネスパークでの戦略
- 学校教育におけるいじめ・悩み対策について
  - ピアカウンセリングの推進
- 買い物弱者支援策について
  - 生活の「足」の確保 (2) 買い物弱者応援マニュアル・支援制度

※観光振興や中心市街地活性化として、足利学校周辺整備の回遊性についての質問に対して、景観重点地区の指定、それに伴う景観補助事業の活用、周辺の空き店舗対策の強化、饗阿寺から現在復元整備しております権崎寺までの散策、ハイキングコースといったものも整備をしてく。いじめ対策としては、大人の一方的な指導ではなく、生徒を中心とした取り組みであるピアカウンセリングが重要と考えるとの質問に対して、校内研修を実施するなど、導入に向け検討していくetc。

【平成25年6月議会定例会代表質問】

- 市長の政治姿勢について
  - 本市の将来展望 (2) 「オール足利」の態勢
  - 足利再生のキーワード「産業」 (4) 足利再生のキーワード「教育」
  - 足利再生のキーワード「観光」 (6) 買い物弱者対策

2. 予防医療について
 (1) 風疹ワクチン接種助成事業の推進
 ※所信表明を中心に新市長の政治姿勢について、本市の将来展望についての質問に対して、市民マインドを高めつつ、誰もが喜びを実感できる都市を目指していきたい。「オール足利」の態勢が不可欠。厳しい財政運営の中で財源の確保の質問に対し、企業誘致や産業団地の増設、観光交流人口の増大を図り、市税収入をいかに確保するかと考える。風疹は、胎児に及ぼす影響が大きいことから成人向けの助成を行うべきの質問に対して、現在、対象者に該当すれば3,000円の助成が受けられるようになった。

【平成25年9月定例会一般質問】

- 教育行政について
  - 家庭教育の推進と地域交流 (2) 家族の絆「弁当の日」の推進
- 福祉行政について
  - 児童虐待の防止策 (2) 産前産後の母親支援
  - 児童養護施設の現状と退所後の自立支援



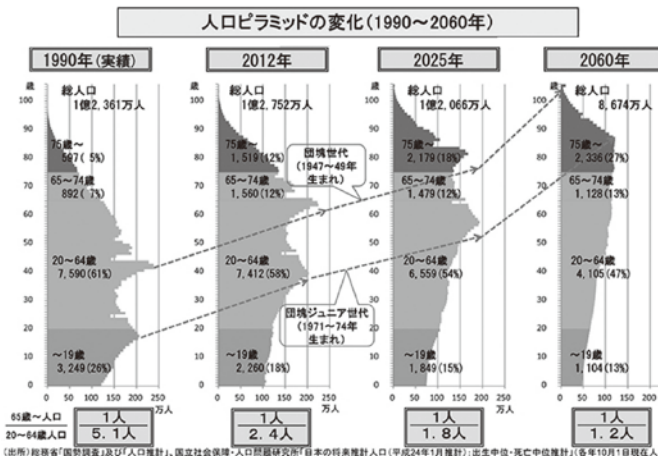
3. 行政サービスの拡充について
 (1) 講演記録の公開
 4. 安心・安全な社会の構築について
 (1) 防犯カメラの設置
 ※家庭教育相談から9割の不登校が見えてきた。家庭教育の強化として地域ネットワークを構築してはどうかの質問では、不登校に対して学校、スーパーバイザー、関係機関と連携し支援体制を作っていく。体験から学ぶことを知らない世代に理解してもらうには体験することが大切。家庭の絆も深まる「弁当の日」を実施しての質問に対して、人間力の育成に繋がる。モデル校も含めて課題をクリアして検討する。

## 中島ゆみ子 私のライフワーク 働く女性の子育て支援

### 足利の将来、日本の未来を支えるのは、仕事と子育てを両立するお母さん、あなたです。

#### 子育て支援は、高齢者への還元!

最近「人口動態」という言葉をよく聞きますが、少子高齢化が進展し、雇用環境の変化、貧困・格差の問題など、社会が大きく変化しています。1961年の日本の平均寿命は、男性が66.03歳、女性が70.79歳でありました。時が経ち2013年では、男性が79.59歳、女性が86.35歳と世界一の長寿国となりました。一方、現役世代(労働人口)は65歳以上の高齢者1人を支えて行くのに1960年では11.25人であったものが、2012年には、2.4人という構図に変化しています。長野県の下條村は、日本の出生率が1.34%であるのに対し2006年~2009年2.04人と上り、村の人口4,176人のうち0歳~14歳が710人を占め日本の未来が見える村と話題になりました。「子供を増やすことが最大の高齢化対策だ」と伊藤喜平村長はいい、独自の施策で地域社会の動きが子供第一であることから若い夫婦が移り住んできたということです。また、昨年から少子高齢化に伴う「人口構成の激変」が社会保障と税一体改革の根拠にあるものとも考え、ますますの支援が重要なポイントになってきます。



**お気軽にご一報を! 出前懇談会**

市政報告! 私の近況報告! お茶の間、井戸端会議へお電話一本で参上します。あなたの夢、希望もお聞かせ下さい。

## 子や孫に、立派な足利市を残してやりたい。

**素敵な足利づくり With Yumiko** ~スタッフ、サポーター登録のお願い~

### ゆみ子ボランタリー青い鳥

ゆみ子さんと一緒にボランティア活動しませんか。年齢、性別は問いません。誰でもなれます。幸せを運ぶ青い鳥に…。(代表: 坂田英次・萩原典子)

### ゆみ子サポーターズ「絆」

子育て世代の良き理解者として活動しているゆみ子さんの応援団です。子育て奮闘中の皆様、楽しく自分磨きをしながら、一緒に「素敵な足利づくり」しませんか。(代表: 梅沢聖美・窪淑恵)

**連絡先: 中島ゆみ子後援会(キラリゆみ子会)事務所**  
〒326-0808 足利市本城1-1601  
Eメール y-n0331@02.watv.ne.jp

**& FAX 41-7030**

サポーター登録受付中!



心と心のネットワーク通信

足利市議会議員 **中島ゆみ子**

事務所  
〒326-0808 足利市本城1-1601  
☎ & FAX **41-7030**  
携帯 090-6348-7348  
Eメール y-n0331@02.watv.ne.jp  
ホームページ http://kirari-yumiko.net/

いつも犠牲になるのは弱い立場の人達、私は、その人達の役にたちたい。

## 堅実な市政運営を求めて…!!

**私**は、常に前を向いて進んでいこうと思うのですが、昨年『自分自身を律し、今の気持ちを切り替えない』と思った時、以前から気に掛けていた大前研一氏が政策塾として創設した一新塾に32期生として入塾しました。議員、公務員、サラリーマン等々、そこはゼロベースでビジョンを描き、塾生それぞれが人生と社会に向き合い政策提言を重ね合う場、元三重県知事の北川正恭氏、現千葉市長・熊谷俊人氏など多くの講師による講義、そして仲間たちとの出会い。私は、夕張市の鈴木直道市長の講義で司会進行役に立候補、打ち合わせでの懇談ののち、市長の講義は「やらなきゃ0」と意気込みがぐんぐん伝わってきました。「第2の夕張…」と聞く夕張でしたが、大いに関心をもついい機会でもありました。

### 昨年10月、夕張・釧路を視察して

**視**察研修は、有料と聞いていたのが15,000円も掛かることに資料が届いてびっくり、しかし、市長の講義から視察の決意は固かったことと、今後、夕張市の対応が未来の地方自治のお手本になるかも考えると絶対に行かなくてはと決意は変わらず。

**札**幌からバスで夕張に到着、市役所まで静かな空気が漂う山間を歩きました。住んでいるかどうか分からない老朽化した家屋(団地のようなもの)が所々見られ、市役所周辺の家には古びた映画の大きな看板が飾られてありました。市役所に入る階段はボロボロになったまま。鈴木市長の講義で「夕張市民は、全国で最高の負担で最低の行政サービスを受けている」と話した事を思い出しました。私達は「足利だったら、階段が危ない、すぐに直してと市民から要望が飛んでくる

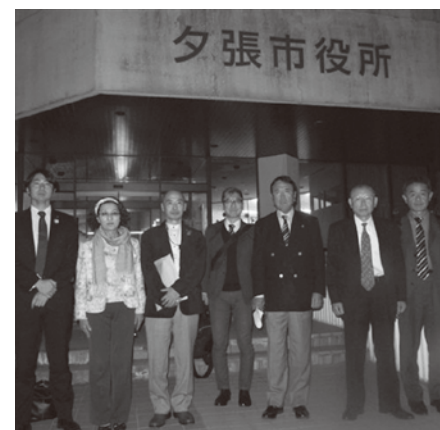
ね」と幸せを感じながらも複雑な思いでした。夕張が財政再建団体になったのも炭鉱の街から観光へと施策展開し、公共施設を造るため起債に依存し公債費が増大し持続不可能な財政運営で、不適正な財務処理を行っていたことが財政悪化の要因といえます。現在では再生振替特例債322億円を財政再生計画終了まで17年間に渡り返済をしていきます。借金返済のキーワードとして行財政改革・地域再生・少子高齢化対策を掲げていました。人口1万人の街でこの返済をしていくのかと思うと相当の覚悟を感じました。

**夕**張のご当地名物という「夕張カレーそば」と聞きましたが、駅前の屋台村で食べた「黒ラーメン」、最初はスープがイカ墨!?と思いましたが、醤油スープで炭鉱の街を意味してか麺に炭が入っているといいました。真っ黒な麺は少し甘い感じがしておいしかった(^^)v。釧路の「生活保護自立支援プログラム」は、働く意欲や社会に関わり生きがいをもてるよう自立に導く事業で結果も出ているということでした。

**足**利市でも扶助費(生活保護等に係る費用)が毎年1億円以上増大しています。このような取り組みができるよう提言していきます。足利市もこれから「映像のまち」として具現化にむけようと『映像のまち推進課』が新設されますが、「映像のまち構想」に期待あり不安ありといった市民の声も聞きます。まもなく平成26年度の予算が計上されますが、人口減少や地方交付税の削減等から財政運営は何処の自治体でも厳しい状況にあります。「木を見て森を見ず」ということのないように行政に対するチェック・アンド・バランスを考えながら、市民の生活向上に努めてまいります。

「映像のまち」足利市に元気と活力を取り戻し、新たな産業と観光を作り上げていくと市長の構想であります。平成26年度の実施計画の内容が報告されました。プロジェクトとして…、1.撮影スタジオの誘致、2.新産業用地的開発(映像産業を含めた企業誘致)、3.中心市街地の再生に、見る=展示施設、遊ぶ=サテライトスタジオ、食べる=飲食施設の建設に取り組む、4.映像制作支援施設の誘致を図るとされています。

映像のまち推進のための支援(優遇)措置			
制度名	制度内容	平成26年	平成27年
1. 活動支援(財政上の支援措置)	映像制作の拠点施設について、立地推進のための支援措置とともに、市内での継続したロケ活動については、市内業者に発注された金額の一部を助成します。	20,000	20,000
2. 制度融資(金融上の支援措置[預託])	映像産業を営む新産業について、創業や市外から足利市への企業立地を推進するため、融資条件の緩和と融資枠の拡大を図ります。	100,000	100,000
3. 構造改革特区申請(規制緩和)	ロケーション活動における規制緩和や手続きの簡素化を図るため、構造改革特区の申請を視野に入れた調査研究等の業務委託を実施します。	10,000	
4. 市民参加	市民エキストラ登録制度を創設し、市民参加による映像制作の支援体制を構築します。	500	500



▲夕張市役所玄関前